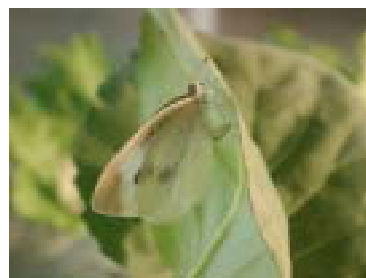


チョウを育てよう

3年	モンシロチョウの卵は簡単に準備できる！
	人工産卵

一人あたり3つの卵は準備したいものです。人数が少ない場合は校地内のキャベツ畑から直接採取することも可能ですが、人数が多いとなかなか思うようにいきません。そこで、成虫を採集し、室内で人工産卵する方法を紹介します。この方法を利用すると、卵の準備ができるだけでなく、授業時間内に卵がふ化する場面を子どもに観察させることも可能になります。



1 準備

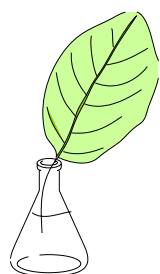
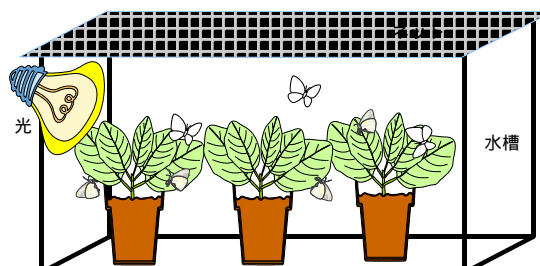
- ・キャベツの苗（キャベツの葉） ・水槽 ・ネット
- ・モンシロチョウの成虫（雄1～2匹，雌5～8匹）

状況にもよるが、雌5～8匹で300～500個程度の卵を得ることが可能

2 方法

- (1) キャベツ畑などで産卵しているモンシロチョウを採集する。
(曇天や風の強い日は飛翔個体が少なく適していない。)
- (2) 水槽にキャベツの苗3～4本と採集した成虫を入れる。
- (3) 白熱電球などを照射して容器内の温度を上げる（28℃以下）と、やがて産卵行動が観察できる。
(5月中旬までの気温が低い時期には有効。そのまま日光の当たる場所に置いて可)
- (4) 2時間後に終了し、成虫は逃がす。

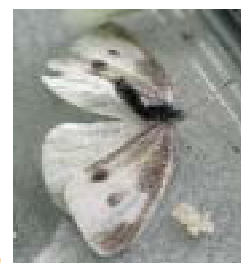
- ・午前中に実施すると良い結果が得られやすい。
- ・雄を数匹入れることで、既に交尾を済ませた雌の交尾拒否姿勢（羽を広げて尾端を高く上げる姿勢）や、盛んに雄が雌に交尾の誘いをかけている様子が観察できる。



苗が手に入らない場合は、若いキャベツの葉を三角プラスチックなどに入れて使う。



産卵が終了した状況



雌の交尾拒否行動

3 卵の管理

- ・卵の付いたキャベツ苗は直射日光の当たらない明るい場所で保管する。根元から水を充分与え、水分が不足しないように注意する。
- ・ふ化予定の前日まではポットに入れたまま管理し、子どもに渡す直前に切り分けた方がよい。